

[A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象]

## 現代社会 解答例

令和6年度  
一般選抜前期

I

問1 締約国会議

問2

②温室効果ガスの削減量を、先進国同士で取引できる。また、目標より削減できた削減量の売買ができる。

③温室効果ガスの排出削減を、先進国同士共同で実施した場合に、技術提供や資金提供をした先進国についても自国の削減量に含めることができる。

④温室効果ガスの排出削減を、先進国が発展途上国と共同で実施した場合に、技術提供や資金提供をした先進国についても自国の削減量に含めることができる。

問3 オ

問4 エネルギーを作る際に化石燃料を燃焼することにより、硫黄酸化物や窒素酸化物が排出される。これらの酸化物が雨に溶け込むことにより、通常よりpHが低くなった状態を酸性雨という。酸性雨は、水環境に生息する生物や森林などの植生にも影響を与える。酸性雨に関わる汚染物質は、大気中で広域に輸送されるため、発生源と影響を受ける国や地域が異なることがある。また、発生源と離れていても、酸性雨の汚染物質を排出した製品を輸入したりし、影響を受ける国や地域が間接的に発生源に直接的、間接的に関与する。そのため、国や地域を超えた監視や対策が必要である。

[A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象]

## 現代社会 解答例

令和6年度

一般選抜前期

### II

問1 1989

問2

一人の女性が生涯に産むであろう子どもの数。この数値が一定の値（人口置換水準）を下回ると人口減少が始まるとされる。

問3 a

問4

- ・ A党の政策は、政府による支出を増やすのではなく、現行制度にある規制をなくす政策が並んでいる。
- ・ B党の政策は、具体的な年限や数値が示されているが、それが可能かどうかには不安が残る。育児休業給付について触れているのはB党のみである。
- ・ C党の政策は、具体性に乏しいが、すでに子どもがいる世帯にとって好ましい政策である。
- ・ D党の政策は、C党の政策に類似しているが、教育費に関する政策が充実している。
- ・ いずれの政策にも言えることだが、これらは子育て世帯に対する対策であり、これから子どもを産む人々にとっての政策であるかどうかは疑問である。

[A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象]

## 現代社会 解答例

令和6年度

一般選抜前期

### Ⅲ

問1 移民を受け入れて社会的にコストはかかっても、移民たちを受け入れ社会にもたらす利益のほうが上回るということ、が適切に記述できているか。

問2 異質な他者と出会って違和感を感じたり困ったりする、不寛容な状態になることをまず理解できているか。それを何とか克服して、受容性や寛容さを身につけることができるのは、ずっと後のことになることが記述されていれば加点する。全体として、異質な他者を気持ちよく受け入れることは大変難しい、ということが理解できているか。

問3 比較的等質な社会では、皆を同じに扱えば平等はほぼ達成できる。これに対して、多様で雑多な社会では、有利な立場にある人もいれば不利な立場にある人もいて、その様子は様々である。こうした状況で皆を同じに扱うと、現状はそのままになって問題状況は改善しない。こうしたことを理解できているか。

[A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象]

現代社会 解答例

令和6年度
一般選抜前期

IV

問1 以下のポイントを含むこと。

- ・個人の成功とうまくいく社会を目指すものである。
- ・子供を適応するものとみなし、その学習を合理的に最大化しようとするものである。
- ・教育のコンテンツを厳選することを要求するものである。

問2 エミール

問3 以下の点を含んでいること。

- ・適応の反対物であり、適応できない状態をもたらすこと。
- ・適応の対象としての社会とは別の存在である世界を見出すこと。
- ・世界を既知のもの（自分の一部）にする過程を停止すること。

問4 以下の点を含んでいること。

- ・学習と教育との対比を抑えていること。
- ・適応としての学習は機械になることであると捉えられていること。
- ・適応ではなく、実存的な問をいだくこと。
- ・社会ではなく、世界が現れ、それとの関係を考えざるをえないこと。